

地域は学校の応援団！学校は地域の活力源！ —笑顔いっぱい『TAI』—

新潟県見附市	● 活動名	● 関係する学校名
	見附市立田井小学校学校運営協議会	見附市立田井小学校

設置年度	平成 25 年度	学級数	4 学級	児童・生徒数	31 人
学校運営協議会の委員数	13 人	学校運営協議員の属性	運営協議会会長、副会長、地域代表（各町内会長）、学区有識者、地域支援本部委員、PTA 代表、学校職員		
地域学校協働本部との連携・協働体制の有無	有				
参考 URL	http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~tai/				

● 体制図



● 連絡先	見附市立田井小学校	☎ 0258-62-0479
-------	-----------	----------------

● 活動の概要・経緯

地域の宝である子供たちを、地域の財産である「学校」を核として、地域総ぐるみで子供を育み、地域と連携した教育活動を展開している。校長の学校経営（ランドデザイン）を基に、学校・家庭・地域の三者による「チーム田井」で「熱議」と「協働」の視点からの教育活動を行っている。組織の中核となる学校運営協議会は地域（保護者）の様々な立場の方と学校職員で組織し、学校を応援する活動について熱議を展開している。熱議された教育活動については、学校支援地域本部や北谷南部みつばコミュニティ、PTA等が核となり、協働での実働組織として活動している。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

地域の「敬老会」と学校の「学習発表会」を『みつばふれあいまつり』と命名し、協働での開催とした。地域の方からは「いきいきと発表する子供の姿に感動し、元気をもらった」「健康に気をつけ、これからもがんばっていこうと思った」といった声が多くでた。子供たちは地域の方々の前で発表することができた満足感を味わい、拍手と賞賛で自信となったようである。このふれあいまつりでは、保育園や長岡造形大学和太鼓集団と学校のみつば太鼓との共演、学区の中学校の演奏など、地域の施設等とのコラボにより、地域が一体となった。また、運動会は地域と協働で開催した。地域種目では様々な種目が行われ、地域住民と子供たちが一緒になって競技を行った。

【実施にあたっての工夫】

地域コミュニティの部会（ふれ合い交流部会：地域・保護者・学校の代表）と連携し、地域と学校の協働活動に向けた検討を行う。また、コミュニティ・スクールの中核である「学校運営協議会『TAI』」が中心となり、協働で行った活動をカリキュラムマネジメントの視点から PDCA サイクルで評価し、より充実した活動となるよう検討を重ねている。

● 事業を実施しての効果・成果

地域も学校も元気になる活動を「熱議と協働」によりさらに発展させていきたい。地域住民が学校に足を運び、子供の様子を見る回数が増え、地域も学校も「笑顔」いっぱいになっている。学校と地域が近い関係になってきている。学校・家庭・地域の「チーム田井」が連携して子供を育む一歩が踏み出した。地域の財産である学校に住民が集い、子供たちと一緒に笑い、汗をかき、一つになるなど、活力ある地域と学校を目指して、三者で協働して取り組んでいる。

● その他

- 企業との連携では、わくわく体験塾で地域の業者が材料を提供している。
- 学習支援では、「虹のかけはし隊」が読み聞かせ等の支援をしている。



地域と協働開催「学習発表会」



地域と協働開催「大運動会」

ポイント

小規模校だからこそこの温かなふれあいを通じて、子供たち自身も地域の中で大切に育てられているのを感じることができると思います。